



08	回答件数	数値	0		継続：ｽｰｸﾞｽ=継続回答待ちまたは継続回答済み 処理年度当該疾患の調査票に対して既回答件数を表示します。 初回：ｽｰｸﾞｽ=継続未回答 継続：ｽｰｸﾞｽ=継続回答済
09	対象		1	ﾌｻｯｸ	今回の依頼状・調査票発行の対象とする場合、チェックします。
10	印刷指定			ﾌﾞｯｸ	印刷指定画面を表示します。

処理年度	2003(H16)
疾患区分	ｸﾞﾚｰﾝ
初回・継続	初回
発行日付	2005 年 04 月 吉日 ｖ 日
発行指定	○未発行のみ ○全件
医療機関地域	範囲指定
札幌市	医療機関コード MS登録番号
青森県	医療機関コード MS登録番号
一覧	依頼状・調査票
	再発行

N0	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	処理年度			0			現在処理中の年度を表示します。
02	疾患区分			0			対象の疾患区分名が表示されます。
03	初回・継続			0			対象の初回・継続が表示されます。
04	発行日付			1		○	依頼状・調査票の発行日を入力します。 マシン日付が初期表示されます。
05	発行指定				ﾌｻｯｸ	○	発行対象を指定します。 ・ 未発行のみ ・ 全件
06	医療機関 地域	文字		0			対象の医療機関所在地の地域が表示されます。
07	医療機関コード範囲	数値		1	ﾌｻｯｸ		対象のコード範囲を入力します。
08	M S登録番号範囲	数値		1	ﾌｻｯｸ		対象のコード範囲を入力します。
09	一覧				ﾌﾞｯｸ		調査票一覧をプレビュー表示します。
10	依頼状・調査票				ﾌﾞｯｸ		依頼状・調査票をプレビュー表示します。
11	再発行				ﾌﾞｯｸ		依頼状・調査票をプレビュー表示します。 再発行時の宛名は主治医宛とする。 主治医未登録時は「ご担当医様」とする。



平成16年7月吉日

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵1-0 東京総合病院 小児科 病中

厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)  
 「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理情報提供に関する研究」班 加藤志明  
 主任研究者 国立成育医療センター 成育政策科学研究部 原田正平  
 分担研究者 国立成育医療センター 成育政策科学研究部 原田正平  
 主任協力者 母子愛育会総合母子保健センター研究開発部長 青木菊麿

先天性副腎過形成の追跡調査に関するお願い

謹啓 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
 新生児マススクリーニングの追跡調査に関して毎年御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 本追跡調査は今後の新生児マススクリーニング事業のあり方を決めていくための貴重な資料となります。  
 本調査の結果は、厚生労働省の研究報告書、国立成育医療センター研究所成育政策科学研究部のホームページなどに載せる予定です。御報告頂いた資料はデータベースとして当研究部で機密保持可能な特別仕様(防犯モニター、壁を鉄板で補強等)の部屋で厳重に管理いたします。本調査責任者及び保管責任者は今月のみ加藤志明、8月以降は原田正平です。  
 平成15年(2003年)度の追跡調査票を同封致しますので、御記入頂きたく存じます。御多忙の処誠に恐縮でございますが、平成16年9月末日迄に必着するように御提出賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

追跡調査用紙の記入について

1) 初回用紙は、平成15年度(平成15年4月1日～平成16年3月31日)に新たにスクリーニングで発見された症例について御報告頂くものです。追跡用紙が不足の場合は、恐れ入りますがコピーして御使用下さるようお願い申し上げます。  
 2) 継続用紙は、前年度までに御提出頂いた症例について、引き続き御報告をお願いするものです。  
 3) 患児のプライバシー保護の立場から、一方で継続する追跡調査にも支障がないように、性別や生年月日とともに患児のカルテ番号、あるいはID番号を御記入頂きたく、御願ひ申し上げます。

事務連絡先  
 〒106-8580 東京都港区南麻布5-6-8  
 母子愛育会総合母子保健センター特殊ミルタ事務局 木下和子  
 tel:03(3473)8333 fax:03(3473)1165 E-mail:kinosita@aiiku.or.jp

概要	依頼状・調査票を発行する。 依頼状と調査票は1対にて出力する。
抽出条件	医療機関が指定範囲内 MS登録番号が指定範囲内
印刷順	疾患区分、医療機関所在地の地域、医療機関、MS登録番号の昇順

3.18. MS督促状

3.18.1. 処理概要

追跡調査未回答の医療機関に対して督促状を発行します。

督促状は医療機関の科宛てに発行する。

3.18.2. 画面イメージ

医療機関地域	初回		継続		薬剤 全て選択 全て既読
	発行	未回答	発行	未回答	
札幌市	5	3	46	5	<input checked="" type="checkbox"/>
青森県	4	1	28	1	<input checked="" type="checkbox"/>
岩手県	5	4	14	5	<input type="checkbox"/>
宮城県	2	1	29	2	<input type="checkbox"/>
秋田県	3	2	12	3	<input type="checkbox"/>
山形県	1	0	17	1	<input type="checkbox"/>
福島県	5	2	36	5	<input type="checkbox"/>
茨城県	2	1	19	2	<input type="checkbox"/>
栃木県	5	1	42	5	<input type="checkbox"/>
群馬県	4	2	27	4	<input type="checkbox"/>

印刷指定

NO	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	処理年度		0				現在処理中の年度を表示します。
02	疾患区分			I		<input type="radio"/>	督促状発行対象の疾患区分を指定します。 ・ 全疾患 ・ クレチン ・ 副腎過形成
03	表示				※ 切り		確認結果画面を表示します。
04	医療機関 地域			0			医療機関所在地の地域を表示します。
05	初回 発行			0			処理年度当該疾患の初回調査票発行済件数を表示します。 行-初=初回回答待ちまたは継続未発行
06	未回答			0			処理年度当該疾患の初回調査票に対して既回答件数を表

07	継続 発行		0		示します。 ｽｰｶﾞ=初回答待ち 処理年度当該疾患の継続調査 票既発行済件数を表示します。 ｽｰｶﾞ=継続回答待ちまたは継続 回答済
08	未回答		0		処理年度当該疾患の継続調査 票に対して既回答済件数を表 示します。 ｽｰｶﾞ=継続回答待ち
09	対象		1	チェック	今回の督促発行の対象とする 場合、チェックします。
10	印刷指定			ボタン	印刷指定画面を表示します。

処理年度	2008(H15)
調査区分	全疾患
発行日付	2005 年 09 月 吉日 日
医療機関地域	範囲指定
札幌市	医療機関コード ~
香森県	医療機関コード ~
一覧	督促状

NO	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	処理年度			0			現在処理中の年度を表示しま す。
02	疾患区分			0			対象の疾患区分名が表示され ます。
03	発行日付			1		<input type="radio"/>	督促状の発行日を入力します。 マシソ日付が初期表示されま す。
04	医療機関 地域			0			対象の医療機関所在地の地域 が表示されます。
05	医療機関コード範囲			1	テキスト		対象のコード範囲を入力しま す。
06	一覧				ボタン		督促状一覧をプレビュー表示 します。
07	督促状				ボタン		督促状をプレビュー表示しま す。



3.19. MS陽性者調査結果報告

3.19.1. 処理概要

初回追跡調査の結果を陽性者一覧依頼先に報告します。

MS実施主体マスタの発行対象区分がチェックされている場合は、対象をチェック済で初期表示します。

送り状は行政・検査センターの部署または担当宛てに発行する。

3.19.2. 画面イメージ

処理年度	2003(H15)		
実施区分	先天性副腎過形成		
依頼先	○行政 ○検査センター ○行政・検査センター		
発行日付	2005 年 09 月 吉日		
表示			
報告先	種別	郵便番号	住所
地域			対象
北海道	行政	060-0819	北海道札幌市北区北十九条西12丁目
札幌市	行政	005-8605	北海道札幌市白石区菊水九条1丁目
青森県	センター	030-0913	青森県青森市東通1丁目
			登録件数報告件数
			全て選択
			全て解除
			10
			5
			7
			1
			8
			5

送り状・報告書

N0	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	処理年度		0				現在処理中の年度を表示します。
02	疾患区分		I			○	報告書発行対象の疾患区分を指定します。 ・ 全疾患 ・ クレチン ・ 副腎過形成
02	依頼先			I	行政	○	依頼先を選択します。 ・ 行政 ・ 検査センター ・ 行政・検査センター
04	発行日付			I		○	報告書の発行日を入力します。マシンの日付が初期表示されます。
05	表示				ボタ		確認結果画面を表示します。
06	報告先 地域	文字		0			報告先所在地の地域を表示します。
07	報告先名	文字		0			報告先名を表示します。
08	種別	文字		0			選択した報告先の種別を表示

09	郵便番号		0			します。 ・ 行政 ・ 検査センター 報告先の郵便番号を表示します。
10	住所	文字	0			報告先の住所を表示します。
11	登録件数	数値	0			当該疾患区分の登録数を表示します。
12	報告件数	数値	0			当年初回調査票を発行した件数を表示します。 ボタン=初回回答待ちまたは継続未実行
13	対象		1	行政		今回の報告書発行の対象とする場合、チェックします。 MS実施主体マスタの発行対象区分が初期表示されます。
14	送り状・報告書			ボタ		送り状・報告書を表示します。

送り状

平成16年4月16日

〒162-0842 東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1-2  
 東京都衛生研究所 微生物部細菌第二研究科 御中

厚生労働科学研究、子ども家庭総合研究  
 小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に  
 関する研究（主任研究者：加藤忠明）  
 分担研究：新生児マスキングで発見された症例  
 の追跡調査に関する研究班

分担研究者：原田正平  
 国立成育医療センター 成育政策科学研究部  
 東京都世田谷区大蔵2-10-1 TEL:03-3416-0801(内4263)  
 研究協力者：青木菊麿  
 母子愛育会総合母子保健センター特殊ミルック事務局  
 東京都港区南麻布5-6-8 TEL:03-3473-8333

平成14年度新生児マスキングにより発見された症例のご報告

謹啓

益々御健勝のこととお慶び申し上げます。  
 昨年度のマスキング陽性者のご報告につきましては、御多忙の処ご協力頂きましたこと、誠にありがとうございました。  
 昨年御報告頂きました副腎過形成及びクレチン症の各陽性者の追跡調査結果をまとめましたのでご査収下さい。但しマスキングの結果、再採血も含まれて正常と記載されているものについては、追跡調査を行っておりませんので御了承下さい。また、再三主治医に追跡調査のご回答を依頼致しましたが、未回答の症例も多く、お詫び申し上げます。

さて、平成15年度（平成15年4月1日～平成16年3月31日）に新生児マスキング  
 発見された副腎過形成及びクレチン症につきましてはこれまでご報告を頂いて参りましたが、今  
 年4月より個人情報保護条例が施行されることとなり、今後の追跡調査に関しては現在成育医療  
 センター内の倫理委員会に審査をお願いしております。審査結果により、改めて情報提供をお願  
 いすることになった場合は、よろしくご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

今後ともご協力の程を、よろしくご願ひ申し上げます。

敬呈

抽出条件	
印刷順	疾患区分、報告先の地域、報告先の昇順

1 医療機関につき1部のみ出力する。

報告書

2008年度 新生児マスキング陽性者調査結果報告 作成日: 2005/12/01 11:22:38 (1/1)

疾患区分: 先天性副腎過形成  
 報告先: 北海道立衛生研究所

症例氏名	性別	生年月日	真偽	診断名	登録番号
小島 良子	女	2001/08/26		未回答	0000000101
高橋 次郎	男	2001/10/25		未回答	0000000215
佐藤 一男	男	2001/11/09		2 1 - 水酸化酵素欠損症 塩喪失型	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
田中 優子	女	2002/04/17	偽陽性		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
渡辺 圭子	女	2002/07/02	偽陽性		0 0 0 0 0 0 1 0 7

印刷順	疾患区分、報告先の地域、報告先の昇順
合計条件	
改頁条件	明細あふれ

NO	項目名	型	桁数	内容
01	作成日			
02	ページ			
03	処理年度			
04	疾患区分			画面から選択した疾患区分を印字します。 ・ クレチン ・ 副腎過形成
06	報告先			画面から対象とした報告先名を印字します。
明細				
08	症例氏名	文字		
09	性別	文字		
10	生年月日			
11	真偽	文字		
12	診断名	文字		
13	M S登録番号	数値		



3.20. MS 調査状況照会

3.20.1. 処理概要

追跡調査の状況を疾患区分、受検年度範囲を指定して照会します。

3.20.2. 画面イメージ

疾患区分	クレンジン	▼																																																																																																											
受検年度	2003 ~ 2003																																																																																																												
照会単位	<input checked="" type="radio"/> 実施主体 <input type="radio"/> 居住地 <input type="radio"/> 出生地 <input type="radio"/> 医療機関所在地																																																																																																												
表示																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">照会単位</th> <th colspan="2">初回</th> <th colspan="2">継続</th> <th colspan="2">総計</th> <th colspan="2">受検年度</th> </tr> <tr> <th>発行</th> <th>未回答</th> <th>発行</th> <th>未回答</th> <th>発行</th> <th>未回答</th> <th>発行</th> <th>未登録</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【全国】</td> <td>43</td> <td>18</td> <td>100</td> <td>27</td> <td>199</td> <td>18</td> <td>230</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>45</td> <td>4</td> <td>80</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>30</td> <td>2</td> <td>54</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>札幌市</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>17</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>26</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>苫小牧</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>47</td> <td>2</td> <td>32</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岩手県</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>35</td> <td>3</td> <td>28</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>宮城県</td> <td>20</td> <td>8</td> <td>25</td> <td>4</td> <td>38</td> <td>8</td> <td>65</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>宮城県</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>34</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>仙台市</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>31</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>秋田県</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>34</td> <td>1</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			照会単位	初回		継続		総計		受検年度		発行	未回答	発行	未回答	発行	未回答	発行	未登録	【全国】	43	18	100	27	199	18	230	27	北海道	15	4	30	5	45	4	80	5	北海道	5	2	13	3	30	2	54	3	札幌市	10	3	17	2	15	3	26	2	苫小牧	7	2	14	1	47	2	32	1	岩手県	3	3	16	5	35	3	28	5	宮城県	20	8	25	4	38	8	65	4	宮城県	4	2	13	3	18	2	34	3	仙台市	16	6	12	1	20	6	31	1	秋田県	3	1	15	3	34	1	25	3
照会単位	初回			継続		総計		受検年度																																																																																																					
	発行	未回答	発行	未回答	発行	未回答	発行	未登録																																																																																																					
【全国】	43	18	100	27	199	18	230	27																																																																																																					
北海道	15	4	30	5	45	4	80	5																																																																																																					
北海道	5	2	13	3	30	2	54	3																																																																																																					
札幌市	10	3	17	2	15	3	26	2																																																																																																					
苫小牧	7	2	14	1	47	2	32	1																																																																																																					
岩手県	3	3	16	5	35	3	28	5																																																																																																					
宮城県	20	8	25	4	38	8	65	4																																																																																																					
宮城県	4	2	13	3	18	2	34	3																																																																																																					
仙台市	16	6	12	1	20	6	31	1																																																																																																					
秋田県	3	1	15	3	34	1	25	3																																																																																																					

N0	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
02	疾患区分			I		○	督促発行対象の疾患区分を指定します。 ・ 全疾患 ・ クレンジン ・ 副腎過形成
01	受検年度範囲			I		○	照会する受検年度の範囲を入力します。 「生年月日の年度」または「スクリニング日の年度」にて照会します。
02	照会単位			I	フリック	○	照会単位を選択します。 ・ 実施主体 ・ スクリニング実施地 ・ 居住地 ・ 現住所の都道府県 ・ 出生地 ・ 出生地の都道府県 ・ 医療機関所在地
04	表示				ボタン		確認結果画面を表示します。
05	照会単位	文字		0			指定された照会単位の地域名を表示します。
07	受検年度 初回 発行	数値		0			受検年度範囲当該疾患の初回調査票既発行済件数を表示し

08	未回答	数値	0			ます。 スクリニング=初回回答待ちまたは継続未発行 受検年度範囲当該疾患の初回調査票に対して既回答済件数を表示します。 スクリニング=初回回答待ち
09	継続 発行	数値	0			受検年度範囲当該疾患の継続調査票既発行済件数を表示します。 スクリニング=継続回答待ちまたは継続回答済
10	未回答	数値	0			受検年度範囲当該疾患の継続調査票に対して既回答済件数を表示します。 スクリニング=継続回答待ち
07	累積 初回 発行	数値	0			受検年度を含む当該疾患の初回調査票既発行済件数を表示します。 スクリニング=初回回答待ちまたは継続未発行
08	未回答	数値	0			受検年度を含む当該疾患の初回調査票に対して既回答済件数を表示します。 スクリニング=初回回答待ち
09	継続 発行	数値	0			受検年度を含む当該疾患の継続調査票既発行済件数を表示します。 スクリニング=継続回答待ちまたは継続回答済
10	未回答	数値	0			受検年度を含む当該疾患の継続調査票に対して既回答済件数を表示します。 スクリニング=継続回答待ち
10	受検年度未登録	数値	0			生年月日、初回スクリニング日ともに未登録の件数を表示します。

3.21. MS年次更新

3.21.1. 処理概要

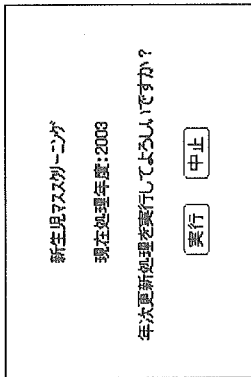
新生児マスキリング処理の年次更新を行います。  
 隠性着調査結果報告が未処理の場合は年次更新できません。

実行すると処理年度が1年繰り上がり、追跡状況のステータスがリセットされます。

ステータスの更新

- ① 「1:初回未発行」 → そのまま
- ② 「2:初回回答待ち」 → 「1:初回未発行」
- ③ 「3:継続未発行」 → そのまま
- ④ 「4:継続回答待ち」 → 「3:継続未発行」
- ⑤ 「5:継続回答済」 → そのまま
- ⑥ 「6:打ち」 → そのまま
- ⑦ 「7:保留」 → そのまま

3.21.2. 画面イメージ



3.22. MS実施主体マスタメンテ

3.22.1. 処理概要

行政または検査センターの情報をメンテナンスします。

3.22.2. 画面イメージ

MS実施主体コード	~
MS実施主体名	○で始まる ○に一致する ○を含む ○で終わる
種別	○行政 ○検査センター ○行政・検査センター
表示	表示

新規追加		
MS実施主体コード	MS実施主体名	住所
1000000	北海道立衛生研究所	北海道札幌市北区北十九条西12丁目
2000000	札幌市衛生研究所	北海道札幌市白石区舞丸条1丁目
3000000	厚岸県環境保健センター	厚岸県厚岸市真道1丁目
4000000	岩手県環境保健部	岩手県盛岡市内丸

NO	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	MS実施主体コード範囲			I	桁外		対象のコード範囲を入力します。
02	MS実施主体名あいまい検索種別	文字		I	桁外		対象の名称を入力します。
03	表示				チェック	<input type="radio"/>	対象の種別を指定します。 ・ 行政 ・ 検査センター ・ 両方
04	新規追加				桁外		条件を満たす内容を表示します。
05	MS実施主体コード	数値		0	桁外		新規追加の画面を表示します。
06	MS実施主体名	文字		0			
07	住所1	文字		0			

MS実施主体コード	50000
MS実施主体名	宮城県保健環境センター
種別	○行政 ○検査センター
発行対象区分	<input checked="" type="checkbox"/> 発生するご関係者 - 医療機関や調査結果報告にて対象が選択された状態で印刷表示されます。
地域	仙台市 ▼
郵便番号	983-0836
住所1	宮城県仙台市宮城野区幸町
住所2	
部署1	宛名出力 ○する ○しない
部署2	宛名出力 ○する ○しない
担当者	宛名出力 ○する ○しない
敬称	御中 ▼
TEL	
FAX	
登録	キャンセル

MS実施主体コード	10000
MS実施主体名	北海道立衛生研究所
種別	○行政 ○検査センター
発行対象区分	<input checked="" type="checkbox"/> 発生するご関係者 - 医療機関や調査結果報告にて対象が選択された状態で印刷表示されます。
地域	北海道 ▼
郵便番号	060-0819
住所1	北海道札幌市北区北十九条西12丁目
住所2	
部署1	臨床病理科
部署2	宛名出力 ○する ○しない
担当者	市原
敬称	様 ▼
TEL	
FAX	
更新	削除
	キャンセル

NO	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	MS実施主体コード				桁外		
02	MS実施主体名	文字			桁外		行政または検査センターの名称を登録します。
03	種別				桁外		種別を選択します。 ・ 行政 ・ 検査センター
04	発行対象区分				桁外		関係者一覧依頼状や調査結果

05	地域	コボ				報告の初期表示を「選択」とさせる場合にチェックします。地域を選択します。
06	郵便番号	文字				郵便番号を入力します。
07	住所1	文字				住所を入力します。
08	住所2	文字				住所を入力します。
09	部署1	文字				部署を入力します。
10	部署2	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
11	担当者	文字				部署を入力します。
12	敬称	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
13	TEL	文字				担当を入力します。
14	FAX	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
15	登録	文字				担当を入力します。
16	更新	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
17	削除	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
18	キャンセル	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
19	TEL	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
20	FAX	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
21	登録	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
22	更新	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
23	削除	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない
24	キャンセル	文字				部署の宛名出力有無を指定します。 ・ 宛名出力する ・ 宛名出力しない



3.24. システムメンテナンス

3.24.1. 画面仕様

(1) 画面イメージ

システムメンテナンスの設定

[登録]	
システム名称1	医療情報データベースシステム
システム名称2	
おしらせ1行	
お知らせファイル	e:\mchinfo\h.html
登録日	2008/01/01 01:30:01
更新日	2008/04/01 01:30:01

(2) 画面項目説明

No	項目名称	タイプ(桁)	区分	項目説明
16.	登録	ボタ		処理内容の「登録」ボタン押下時を参照
17.	システム名称1	テキスト(80)	△	
18.	システム名称2	テキスト(80)	△	
19.	お知らせ1行	テキスト(80)	○	ログイン画面または、お知らせ表示で表示する1行メッセージ
20.	お知らせファイル	テキスト(80)	○	ログイン画面または、お知らせ表示で表示する、テキストまたはファイルのフルパス
21.	登録日	テキスト	△	YYYY/MM/DD HH:MM:DD
22.	更新日	テキスト	△	YYYY/MM/DD HH:MM:DD

◎:入力可能 (必須入力)、○:入力可能 (任意入力)、△:入力不可 (表示のみ)、×:入力不可 (非表示)、\*1:その他

3.24.2. 処理内容

(1) 「登録」ボタン押下時

- ① 単項目チェック
  - ・入力桁数・入力文字タイプに合わせてチェック
  - ・エラーメッセージは共通仕様参照

② 更新処理

- ・上記、(1)のチェック処理が全てokの時、後節の「項目転送仕様」に従って、システムメンテナンスを更新する。

3.25. 医療機関メンテナンス

3.25.1. 処理概要

医療機関の情報をメンテナンスします。

3.25.2. 画面イメージ

医療機関コード	~
医療機関名(正式)	◎で始まる ○に一致する ○を含む ○で終わる
表示	

新規追加	
医療機関コード	医療機関名(正式) 住所1
100000	東京総合病院 東京都世田谷区大田1-○
200000	世田谷医院 東京都世田谷区登壇2-X
300000	新橋小児科 東京都世田谷区箱田3-◆
400000	東京こどもクリニック 東京都世田谷区船場4-☆

No	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	医療機関コード範囲			1	テキスト		対象のコード範囲を入力します。
02	医療機関名(正式)あいまい検索	文字		1	テキスト		対象の名称を入力します。
03	表示				ボタ		条件を満たす内容を表示します。
04	新規追加				ボタ		新規追加の面を表示します。
05	医療機関コード			0			
06	医療機関名(正式)	文字		0			
07	住所1	文字		0			

3.26. 医療機関通称マスタメンテナンス

3.26.1. 処理概要

医療機関通称の情報をメンテナンスします。

3.26.2. 画面イメージ

通番	~	~	
医療機関名(通称)	○で始まる ○に一致する ○を含む ○で終わる		
医療機関コード	~		
表示			
新規追加			
通番	医療機関名(通称)	医療機関コード	医療機関名(正式)
00001	東京総合病院	100000	東京総合病院
00002	世田谷医院	200000	世田谷医院
00003	高崎小児科	300000	高崎小児科
00004	東京こどもクリニック	400000	東京こどもクリニック
00005	高崎小児科	500000	高崎小児科
00006	東京総合病院 小児科	100000	東京総合病院
00007	東京総合病院 小児科	100000	東京総合病院

N0	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	通番範囲				桁外		対象の通番範囲を入力します。
02	医療機関名(通称) あいまい検索	文字			桁外		対象の名称を入力します。
03	医療機関コード範囲				桁外		対象のコード範囲を入力します。
04	表示				桁外		条件を満たす内容を表示します。
05	新規追加				桁外		新規追加の画面を表示します。
06	連番			0			
07	医療機関名(通称)	文字		0			
08	医療機関コード			0			
09	医療機関名(正式)	文字		0			

医療機関コード	50000
医療機関名(正式)	高崎小児科
地域	千葉県
郵便番号	260-0000
住所1	千葉県千葉市中央区5-
住所2	
住所3	
住所4	
TEL	043-555-xxxx
FAX	
登録 キャンセル	

医療機関コード	10000
医療機関名(正式)	東京総合病院
地域	東京都
郵便番号	157-8535
住所1	東京都世田谷区大蔵1-0
住所2	
住所3	
住所4	
TEL	03-1111-xxxx
FAX	
更新 削除 キャンセル	

N0	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	医療機関コード				桁外		
02	医療機関名(正式)	文字			桁外	○	
03	郵便番号	文字			桁外		
04	住所1	文字			桁外		
05	住所2	文字			桁外		
06	住所3	文字			桁外		
07	住所4	文字			桁外		
08	TEL	文字			桁外		
09	FAX	文字			桁外		
10	登録				桁外		新規時、画面の内容を登録します。
11	更新				桁外		訂正時、画面の内容を更新します。
12	削除				桁外		訂正時、画面の内容を削除します。
13	キャンセル				桁外		中断して前の画面に戻ります。

3.27. システムユーザー登録

3.27.1. 一覧画面

(1) 画面イメージ

**新規**

連番: 100008  
 医療機関名(通称): 東京都病院 小児科  
 医療機関コード: 10000   
 医療機関名(正式): 東京総合病院  
 宛名用名称: 東京総合病院 小児科

**更新**

連番: 00001  
 医療機関名(通称): 東京総合病院  
 医療機関コード: 10000   
 医療機関名(正式): 東京総合病院  
 宛名用名称:

No	項目名	型	桁数	I/O	種別	必須	内容
01	連番	文字			桁外		
02	医療機関名(通称)	文字		1	桁外	○	
03	医療機関コード	文字			桁外	○	
04	医療機関名(正式)	文字		0	桁外		検索画面を表示します。
05	医療機関名(正式)	文字		0	桁外		
06	宛名用名称	文字		1	桁外		
07	登録				桁外		新規時、画面の内容を登録します。
08	更新				桁外		訂正時、画面の内容を更新します。
09	削除				桁外		訂正時、画面の内容を削除します。
10	キャンセル				桁外		中断して前の画面に戻ります。

システムユーザー登録

ユーザー名検索

検索条件: 123 文字 (40件)

ユーザID	ユーザー名	カナ名	権限	備考
12345678	木下太郎	キノシタ タロウ	A	
12345600	安藤一郎	ヤナギトウイチロウ	A	
12345601	伊藤三郎	イトウ サンロウ	A	
98765432	伊藤四郎	イトウ シロウ	B	
FK000011	上田花子	ウエダ ハナコ	9	
YASU0011	浅野真由	アサノ マユ	9	
0011234	大田一郎	オオタ イチロウ	9	
KEIDOU11	加藤次郎	カトウ ジロウ	9	
0000112	木下太郎	キノシタ タロウ	9	
KEIDOU12	加藤次郎	カトウ ジロウ	9	
0000113	加藤真子	カトウ マコ	9	

検索条件: 123 文字 (45件)

(2) 項目説明

項目名称	区分	項目説明
条件指定		
ユーザID	桁外(8)	入力した文字列を含む検索
ユーザ名称	桁外(40)	入力した文字列を含む検索
ユーザ名称(カナ)	桁外(20)	入力した文字列を含む検索
表示	桁外	条件指定で入力した内容をセレクト条件として、システムユーザーマスタより一覧表示を行う。 ※後部の「項目毎送説明書」参照
一覧表示		表示順 ①ユーザー名称(カナ) ②ユーザID
新規	桁外	詳細画面へ(新規モード)
ユーザID	桁外(8)	アンカーをクリック時 該当データを取得して 詳細画面へ(修正・削除モード) ※後部の「項目毎送説明書」参照
ユーザ名称	桁外(40)	
ユーザ名称(カナ)	桁外(20)	
権限	桁外(1)	
備考	桁外(80)	

(◎:入力可能(必須入力)、○:入力可能(任意入力)、△:入力不可(表示のみ)、×:入力不可(非表示)、\*1その他)

3.27.2. 詳細画面

(1) 画面イメージ

システムユーザ登録

登録/削除

ユーザID: FK00012  
 ユーザ名: 上田花子  
 ユーザ名(カナ): うえだかほこ  
 権限: A  
 パスワード: \*\*\*\*\*  
 パスワード(確認用): \*\*\*\*\*  
 備考:  
 登録日: 2006/01/01 01:01:01  
 更新日: 2006/04/01 01:01:01

(2) 項目説明

No	項目名称	タイプ(桁)	区分	項目説明
1.	処理モード	7桁(10)	△	「新規」又は「修正・削除」をタイトル横に表示。 ①修正・削除時：修正・削除 ②新規時：新規
2.	登録	ボタン		後節の「処理内容」登録ボタン押下時を参照
3.	削除	ボタン		後節の「処理内容」削除ボタン押下時を参照
4.	ユーザID	7桁(8)	◎	修正・削除モードの時は表示のみ。
5.	ユーザ名称	7桁(40)	◎	
6.	ユーザ名称(カナ)	7桁(20)	◎	半角のみ入力可能
7.	権限	7桁(1)	◎	0~9,A~Z(大文字のみ)
8.	パスワード	7桁(8)	◎	半角英数時、大文字・小文字区別
9.	パスワード(確認用)	7桁(8)	◎	半角英数時、大文字・小文字区別
10.	備考	7桁(80)	○	
11.	登録日	Date	△	YYYY/MM/DD hh:mm:ss
12.	更新日	Date	△	YYYY/MM/DD hh:mm:ss

(◎:入力可能(必須入力)、○:入力可能(任意入力)、△:入力不可(表示のみ)、×:入力不可(非表示)、\*1:その他)

3.28. システムメニュー権限設定

3.28.1. 一覧画面

(1) 画面イメージ

システムメニュー権限設定

メニュー(左/右) ... ユーザID ... 権限 ... 表示

4部へ123ページ (45件)

メニューID	メニュー名称	メニューID	表示権
101000	上野製菓株式会社		11A
101000	取引・贈送	101000	11A
102000	販売ID管理	100000	21A
103000	販売ID修正	100000	31A
104000	販売ID管理追加(顧客取引)	100000	41A
105000	販売ID管理追加(贈送取引)	100000	51A
106000	販売ID管理	100000	61A
107000	販売ID管理履歴	100000	71A
108000	販売ID管理入力	100000	81A
109000	ICD管理	100000	91A
110000	ICD管理取込	100000	101A
111000	ICD管理システムメンテナンス	100000	111A
112000	経理システム取込	100000	121A
200000	販売ID管理システムメンテナンス		11B
201000	販売ID管理システム履歴		11B

4部へ123ページ (46件)

(2) 項目説明

3.28.2. 詳細画面

(1) 画面イメージ

システムメニュー権限設定

メニューID: 100000  
 メニュー名称: 小売販売特定状態  
 メニュー表示区分: L  
 表示権: 権限  
 権限: 0~1A~Z  
 登録日: 2006/01/01 01:01:01  
 更新日: 2006/04/01 01:01:01

(2) 項目説明



平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)  
分担研究報告書

分担研究課題：新生児マススクリーニング陽性者の登録・追跡・解析・情報提供  
システムの構築とスクリーニング全体の精度保証体制確立に関する研究

米国の 3 州における新生児マススクリーニング追跡調査体制について

分担研究者 原田 正平 国立成育医療センター研究所室長

### 研究要旨

日本における新生児マススクリーニング(MS)では、検査部門のみに実施主体(地方自治体)からの事業費が投入され、検体検査をすることだけがMSであると誤解されている。しかし、米国では検査部門と追跡調査部門が共に重視され、MSの質の向上に役立っている。そこで2005(平成17)年5月に米国の3州(ワシントン、コロラド、ニューヨーク)のMS検査機関および採血医療機関等の視察を行い、また各州のスクリーニング責任者と両国のMS体制の違いについて討議を行った。その結果、わが国のMS陽性者の追跡調査体制の再構築のために有意義な資料・情報が得られ、また将来の情報入手のための人脈も形成できた。

#### A. 研究目的

わが国での新生児マススクリーニング(MS)は、都道府県・政令指定都市単位で行われており、陽性者のデータあるいはその長期追跡データについては、統一された様式で集積・管理・解析が行われていない。そのため、わが国全体のスクリーニング成績を評価できるデータが存在していない。

それに対し米国では、やはり州単位のスクリーニングもあるが、いくつかの州をまとめて行われている地域もある。そこでは、陽性者のデータ、追跡調査のデータなどを一つの標準的な様式のデータベースに集積して、各施設の成績を比較することが可能なシステムが作られており、全米の新生児の50%以上をカバーしている。

そこで研究者が現地調査を行って、そのシステムの実際の運用を視察、具体的な状況について情報収集し、また現地の担当者と、研究者の提供する日本の実状報告をもとに、日

米のデータ集積システムの差違について詳細に現地で討議することを目的として渡米し、調査研究を行った。

#### B. 研究方法

以下の日程で米国の3州(ワシントン、コロラド、ニューヨーク)のスクリーニング検査機関および採血医療機関等の視察を行い、また各州のスクリーニング責任者と両国のMS体制の違いについて討議を行った。

##### 1) ワシントン州

2005(平成17)年5月8～11日。

視察場所：医療機関(Northwest Hospital & Medical Center)、スクリーニング検査機関(ワシントン州立衛生研究所)

##### 2) コロラド州

同年5月11～14日。

視察場所：医療機関(University of Colorado Hospital)、Marion Downs 乳児

聴覚センター（コロラド大学ボールダー校）

3) ニューヨーク州

同年5月14～18日。

視察場所：医療機関（Albany Medical Center）、スクリーニング検査機関（ニューヨーク州立衛生研究所）

### C. 研究結果

1) Northwest Hospital & Medical Center (NHMC)

ワシントン州シアトル市にある中規模の病院であるNHMCを視察し、主に新生児からの濾紙採血の実状などを担当者から聴取した。

NHMCに関する主な統計（2004年）は次の通りである：病床数281、職員数1,581（うち active な医師数308）、入院数（新生児除き）9,478、外来数390,487、救急外来数35,535、出生数1,005。

初回の濾紙採血は新生児室で看護師により行われるが、退院後の採血は検査室で行われていた。



（Special Care Nursery の看護師）

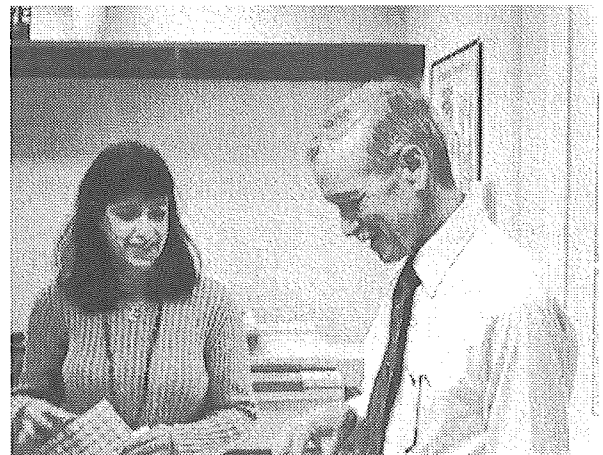
2) ワシントン州立衛生研究所

全米のMSにおけるデータマネージメントの50%以上をカバーしているシステムである、Natus Medical社のNeometrics (<http://neometrics.com/products/datamanagement.html>)の中で、検査部門には Metabolic Screening Database System (MSDS)、追跡調査

部門には Case Management System (CMS)が導入され、データベースによる症例管理がなされている。

検査部門は衛生研究所のMike Glass 所長が責任者であり、追跡調査部門は Sheilla Neier さんが責任者となり長期にわたりワシントン州全体のデータをまとめている。

年間78,600の出生数があり、2006年3月現在、先天性甲状腺機能低下症(CH)を初め12疾患のMSが行われ（資料参照）、検査機関は1箇所である。法的に規定されているが、64.40ドルの自己負担を必要とする。



（NeierさんとGlass所長）

3) コロラド大学病院（University of Colorado Hospital）

米国では難聴者への医学的対応は、耳鼻咽喉科ではなく聴覚学（Audiology）専門の診療部門で行われている。そこでは audiologist（日本の言語聴覚士は Speech-Language-Hearing-Therapist と訳され同義ではない）が独立したクリニックをもって診療にあたっている。

コロラド州は新生児聴覚スクリーニング（universal hearing screening）を世界で初めて確立し、現在でもリーダーの地位にある。そのスクリーニングの創始者が次の写真の Marion Downs 博士である。



(Marion Downs 博士)

コロラド州での血液濾紙を用いたMSは、年間約 68,500 人の新生児を対象として行われている（隣のワイオミング州も対象）。検査部門と追跡調査部門がやはり独立しており、法的に規定されているが、53.25 ドルの自己負担を必要とする。

出生届が病院からインターネットを介して可能となっており、MSデータと聴覚スクリーニングのデータの照合も可能となっている。

#### 4) Marion Downs 乳児聴覚センター (Marion Downs National Center for Infant Hearing、コロラド大学ボルダー校内)

コロラド大学ボルダー校の副学長である Christine Yoshinaga-Itano 博士は、難聴児への乳児期の早期訓練が、知能発達を含めて良好な成果を上げることが、世界で初めて報告し、スクリーニングの有効性を明らかにしてきた。

このように、聴覚スクリーニングは陽性を発見することよりも、発見後の対応がより重要なスクリーニングであることから、発見後の追跡調査体制に重点が置かれ、MSの濾紙に聴覚スクリーニングの結果が記入されることで、データ収集が容易となっている。



(Christine Yoshinaga-Itano 博士)

#### 5) ニューヨーク州立衛生研究所

ワシントン州立衛生研究所と同様に Natus Medical 社の Neometrics が導入されているニューヨーク州立衛生研究所の視察を行った。

同研究所はニューヨーク市のMSも担当しており、年間約 252,300 の出生数となっている。MSは法律で規定されており、2006年3月現在、50疾患を対象としているが、無料で行われている。

特徴的なこととして、HIV感染のスクリーニングを陽性を特定しない形（妊婦の感染率のモニタリングとして）で行っている（法的に認められている）。



(遺伝相談部門責任者 Kenneth Pass 博士)

ワシントン州と同様に追跡調査部門が独立しており、専属の担当者が8名とのことであった。

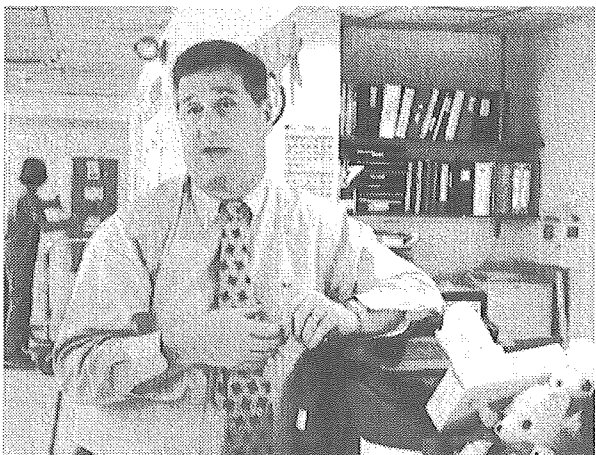


(追跡調査部門全景)

#### 6) Albany Medical Center (AMC)

ニューヨーク州の州都である Albany 周辺の新生児医療の中心となっている AMC の視察を行った。

ここではMSの採血は新生児部門 (NICUも有する) で行われ、部門責任者がMSについても、再採血も含めて責任者となっていた。



(新生児部門責任者)

#### D. 考察

全米のMSにおけるデータマネジメントの50%以上をカバーしているシステムである、Natus Medical社のNeometrics (<http://neometrics.com/products/datamanagement>、

html) のデータベースの概略については、インターネット上の資料などでも、ある程度理解することができるが、状況の異なるいくつかの州で、同じシステムをどのように運用しているかは、現地を視察し、その担当者と詳細な討議をすることで初めて具体像を理解することが可能となる。

今回の視察では、異なるシステムで運用している米国の3州の状況を視察することで、わが国にそうしたシステムを導入するための基礎資料が得られた。

最初の訪問地ワシントン州におけるMSデータの管理システムは、年間約8万人の新生児を対象とする中規模のデータベースであり、その実際の運用の詳細データが得られた。

また同州では陽性者の追跡調査体制が確立してから20年以上の歴史があり、その方法論をわが国に導入するため、現地担当者と討議することができた。そこで得られた、適切な助言により、わが国の追跡プログラム構築に寄与することが期待できる。

わが国では新生児聴覚検査が多施設で行われているため、モデル事業以外の施設での結果が把握できず、スクリーニングとしての役割を果たすまでに至っていない。

そこで、2番目の訪問地コロラド州では、聴覚障害児の早期支援のシステム、人的資源の育成状況について、現地調査を行った。

同州では、先天性代謝異常等の新生児マススクリーニングの濾紙血に、聴覚スクリーニングの結果を添付して検査センターに集め、そこで同一のデータベースを運用することで、様々な部署の連携が可能となっている。そうしたシステムを現地調査し、現地の担当者と討議することで、文献情報だけでは入手することのできない具体的な情報が得られ、また将来の情報入手のための人脈も形成できた。その結果、わが国でも同様のシステムを導入し、データ管理システムを確立することに役立てることができるものと考えられる。